

NO	50音	作品の題材	作品(読み句)
1	あ	あづまねさん 東根山	あづまねやまゆたかなゆうすいこたつやま あづまね山豊かな湧水こたつ山
2	い	ごろうぬま 五郎沼	いにしへの こだいはすさく ごろうぬま いにしへの 古代ハス咲く 五郎沼
3	う	しょうげんいんのぎやくがしわ 勝源院の逆ガシワ	うねうねと ちをばうような かつげんいんのぎやくがしわ うねうねと 地をばうような 勝源院の逆ガシワ
4	え	しわはちまんぐうとはだかまいり 志和八幡宮と裸参り	えんどう なか むびようそくさい ねが はちまんまい 沿道の中 無病息災を願ひ 八幡参り
5	お	なんぶとうじのさと 南部杜氏の里	おうみしょうにん むらいごんべえ つくるしゆ 近江商人 村井権兵衛 造る酒
6	か	しわのぶりくら 紫波のブリクラ	かなしすぎしわにぶりくら 2こしかない 悲しすぎ紫波にブリクラ2個しかない
7	き	しわはちまんぐうさいてんだしぎょうじ 志和八幡宮祭典山車行事	きゆうしわむら でんどうぶんかをまもりつたえる しわはちまんぐうだしぎょうじ 旧志和村 伝統文化を守り伝える 志和八幡宮山車行事
8	く	はこしみずいんむぐん 箱清水板碑群	くようひで ごくらくおうじょうをねがう はこしみずいんむぐん 供養碑で 極楽往生を願う 箱清水板碑群
9	け	たかみずでらじょうあと 高水寺城跡	けんないでいちばんおおきいこうすうじじょう 県内で一番大きい高水寺城
10	こ	こだいはす 古代ハス	こだいはす なぎきねむりは 800ねん 古代ハス 長き眠りは 800年
11	さ	たすくひないきんざんたいこ 佐比内金山太鼓	たすくひないの なつにひびく きんざんたいこ 佐比内の 夏に響く 金山太鼓
12	し	ほうふなしわのれきし 豊富な紫波の歴史	しわちようはれきしあふれてすてきだな 紫波町は歴史あふれてステキだな
13	す	にいやまじんじや 新山神社	すずめがふたはねあきさのなかつうがにひしうするにいやまじんじやどうあきさそうずめがみ 雀が二羽秋草の中優雅に飛翔する新山神社銅秋草双雀鏡
14	せ	たつみせいか 巽聖火	せいか がとりもつ しまいとし ひのとしわ 聖歌が取り持つ 姉妹都市 日野と紫波
15	そ	しわいなりじんじや 志和稲荷神社	そびえたつ れいきかみき ふうふ(めおと)すぎ そびえ立つ 霊木神木 夫婦(めおと) 杉
16	た	きゆうしわぐんやくしちようしや 旧紫波郡役所庁舎	たいしやうの ぐんのきよてん きゆうしわやくしちようしや 大正の 郡の拠点 旧紫波役所庁舎
17	ち	すがわちようのすけ 須川長之助	ちやうのすけ しよくぶつもとめ ちのはてへ 長之助 植物求め 地の果てへ
18	つ	きようどしよく 郷土食	つたえよでんどう ひつつみ かまやき きりせんしよ 伝えよ伝統 ひつつみ かまやき きりせんしよ
19	て	よなきいし 夜泣き石	でんせつに かなしきむすめ のひとばしら 伝説に 悲しき娘の人柱
20	と	はしもとぜんふた 橋本善太	にわとりが たまごをおおく(うむ)ようかいりやう はしもとぜんふた 鶏が 卵を多く産むよう改良 橋本善太
21	な	夏祭り	なつまつりながいれきしがつまっている よぞらをいろどるまんかいのはなび 夏まつり長い歴史が詰まっている 夜空を彩る満開の火花
22	に	じんけおかじんえいあと 陣ヶ岡陣宮跡	にほんのちきがつどいし じんけおか 日本の猛者が集いし 陣ヶ岡
23	ぬ	ひづめのまちなみ 日詰の街並み	ぬぐすてし きやほんにちかう あきないみち 脱ぎ捨てし 脚絆に誓う 商い道
24	ね	はちのへはん 八戸藩	ねんぐまい えどまでむすぶ しわみぞうしゆく 年貢米 江戸まで結ぶ 志和御蔵宿
25	の	かかしまつり	のうさくもつをわだいのひどがまもりますふるさとせんたーかかしまつり 農作物を話題の人が守りますふるさとセンターかかしまつり
26	は	ひらいげじゆうたく 平井家住宅	はらげい むかえせいだいひらうの ひらいてい 原敬 迎え盛大披露の 平井邸
27	ひ	ひのわ、つきのわがたのいけ 日の輪、月の輪形の池	ひどつきの いわれつたえし いげのあと 日と月の 謂れ伝えし 池の跡
28	ふ	にぎやかさ	ふるくからひとがにぎわう 古くから人がにぎわう
29	へ	しわふるいなりじんじや 志和古稲荷神社	へいあんのおうこからすうけいさいたふるいなりじんじや 平安の往古から崇敬された古稲荷神社
30	ほ	ふるだてほんせいじ 古館本誓寺	ほんせいじおうみしうにん物のけひぞうきやうどかぎやおのけぶつだんいつしき 本誓寺近江商人小野家秘蔵京都鍵屋小野家仏壇一式
31	ま	らいこうじ 来迎寺	まりあさま ひそかにまもる らいこうじ マリア様 密かに護る 来迎寺
32	み	しがりわきじんじや 志賀理和気神社	みなおもの さくらにそまる あかいしきん みなおもの 桜に染まる 赤石さん
33	む	ひづめようちえん(げん ひかりのこ) 日詰幼稚園(現 ひかりの子)	むしのあい つたえひやくねん ひかりのこ 無私の愛 伝え百年 ひかりの子
34	め	みくわけじんじや 水分神社	めいすいの こんこんわく てん(あめ)のみくまり(みくまり) 名水の コンコン湧く 天(あめ)の水分(みくまり)
35	も	みくわけじんじややうましるし 盛岡南部家馬印	もりおかほん せんじやうでたいしやうしめす なんぶのうましるし 盛岡藩 戦場で大将示す 南部の馬印
36	や	みくわけじんじや 水分神社	やますがた こたつににせて あづまねさん 山姿 こたつに似せて 東根山
37	ゆ	こうすいじじょうあと 高水寺城跡	ゆたかなしぜん しきりおりの しやまこうえん 豊かな自然 四季折々の 城山公園
38	よ	しばごしよ 斯波御所	よりともの ごげにんのえいが しばのごしよ 頼朝の 御家人の栄華 斯波の御所
39	ら	らいこうじ 来迎寺	らいこうじ ひづめちやうはつしやうの ちにててり 来迎寺 日詰町発祥の 地に建てり
40	り	きくらひさと 菊池寿人	りそうおい まなぶすがたよ とどけわかものに 理想追い 学ぶ姿よ 届け若者に
41	る	しわちよう はな 紫波町の花	るりいろの ききようきよし(すが)しや まちのはな 瑠璃色の 桔梗清(すが)しや 町の花
42	れ	しがりわきじんじやれいたいさい 志賀理和気神社例大祭	れいたいさい だしねりあるく しがりわきじんじや 例大祭 山車練り歩く 志賀理和気神社
43	ろ	いちりづか 一里塚	ろばうにて たびをきそう いちりづか 路傍にて 旅を誘う 一里塚
44	わ	かかしまつり	わだいのすたーがみのりのあきにせいぞろいふるさとせんたーかかしまつり 話題のスターが美りの秋に勢ぞろいふるさとセンターかかしまつり